

## 環境アセスメント学会奨励賞選考結果報告

### 1. 選考プロセス

- ・2008年12月1日 第1回選考委員会で募集要項の決定
- ・2008年12月5日 「募集のお知らせ」を公表
- ・2009年1月31日 募集締切り
- ・2009年2月23日 第2回選考委員会で応募者の確認と審査、候補者の決定
- ・2009年3月16日 第32回常務理事会で候補者の承認
- ・2009年3月29日 第26回理事会で受賞者の決定

### 2. 応募者の確認と審査

募集期間内に4件の応募があった。

規定にもとづき、以下の4項目で評価した(配点は各5点、合計20点満点)。

なお、応募者の研究、業務に密接に係わった委員は評価を辞退した。

- |                |      |      |      |      |
|----------------|------|------|------|------|
| ・将来性(個人としての観点) | 5点満点 | で評価、 | コメント | をつける |
| ・発展性(分野としての観点) | 5点   | 〃    | 〃    | 〃    |
| ・適切性(業績・成果の水準) | 5点   | 〃    | 〃    | 〃    |
| ・その他、特記事項      | 5点   | 〃    | 〃    | 〃    |

委員会(委員9名全員出席)で審議の結果、以下の応募者を2008年度奨励賞の受賞候補とし、常務理事会、理事会に諮った上で受賞者に決定した。

**研究部門：持木克之会員(埼玉県)**

**実務部門：佐藤律子会員(日本工営株式会社)**

### 3. 次年度への申し送り事項

第2回委員会で以下の事項を合意した。

- ・本学会論文の著者で自動的に選考対象となる応募者についても、評価のポイントを明確にするため、研究内容などのアピール点の概要を提出してもらう。
- ・応募時に、研究部門、実務部門の本人希望を記載してもらう。

また、業績の一つとして、環境アセスメント学会大会での発表を望む声が多かった。

以上